

学校概要

創立 41 周年	学校長 村田 重子	副校長 後藤 直樹	学期 2 学期制	児童・生徒数 612 人
学級数 一般級: 18 個別支援級: 3			主な関係校: 丸山台中学校	

学校教育目標

「輝くひとみ 仲間とのびる 下野庭の子」
 ・めあてをもって、ねばり強く取り組んでいこうとする子を育てます。(知)
 ・自分のよいところを伸ばそうとする子を育てます。(徳)
 ・生命を大切にし、健康な体をつくらうとする子を育てます。(体)
 ・できることをすすんでやり、みんなの役に立とうとする子を育てます。(公)
 ・友達を思いやり、よりよいかかわろうとする子を育てます。(開)

学校の特徴

□緑豊かな野庭住宅地の中に位置し、周囲には緑道や広い公園などが計画的につくられた静かな環境の中にある。近隣の商業施設・寺や神社・公共施設などは、生活科や総合的な学習の時間にも活用されている。
 □十数年連続して全国大会に出場し、すばらしい受賞歴を持つマーチングバンドは、地域の行事にも積極的に参加し、貢献している。
 □屋内の面積や校庭が広く、子どもたちはゆったりとしたスペースの中で学校生活を送っている。
 ■新体力テストの結果から、全国や市の平均に届いていない種目が多く見られる。

学校経営中期取組目標

○学校教育目標の実現に向けて、全職員が学校経営に積極的に参加し、活気にあふれた学校づくりを推進します。
 ・子どもたちが学習の楽しさを実感できる授業づくりを進め、学力向上を図ります。
 ・一人ひとりの子どもが自分のよさに気づき、安心して過ごせる居場所づくりに努めるとともにチームとして子どもたちを育てます。
 ・自分の体力に目を向け、改善していく大切さに気づき、より力を高めていこうとする子を育てます。
 ・学校・保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりを進めます。

小中一貫教育の取組

丸山台中	ブロック	丸山台中学校・丸山台小学校・下野庭小学校
9年間で育てる子ども像	○いつでも元気よくあいさつできる子ども ○一人ひとりを大切にできる子ども ○すすんで学習しようとする子ども	
自校の具体的取組	小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観および研究協議の機会を年4回設定します。 ・担当者会議を年5回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会を年1回設定します。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 (学習指導)	子どもが主体的に問題解決をしていく力を育てる。「わかる授業」づくりを目指して、指導法の工夫改善に取り組み、基礎・基本の定着を図る。	①学力・学習状況調査の結果を基に学年内でつきたい力を明確にし、少人数指導や教科担任制を効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を図る。②教材研究を深め、ワークシートの開発・板書や教員活用の工夫等を行い、児童の実態に合わせた支援を行う。③朝学習や家庭学習を活用し、はまっ子学習ドリルや繰り返し学習を計画的に進めていく。
豊かな心	互いのよさを認め合い自他を大切にする心情や態度を育てる。	①重点研究の研究テーマを「自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする心を育てる」とし、道徳の授業研究を通し、お互いの思いを伝える場を作り、振り返りを充実させる。②たてわり活動を計画的に行い、めあてを意識した活動内容を取り入れ、異学年のつながりを築けるようにする。③読書活動を通して、豊かな心情を育てる。
健やかな体	規則正しい生活習慣の定着と共に、体を動かすことの楽しさを知り、積極的に運動に取り組もうとする子を育てる。	①全校ジャンピングや中休みの体育用具貸出、体育協会の方による遊びの体験、学校保健委員会でのリズムトレーニングの紹介など、様々な取り組みを通して、それぞれが自分に合った運動の楽しさを感じ、日常的に運動に取り組もうとする子を育てる。②マラソンクラブ(11月~5月)での取組を通して、走る楽しさや体力の高まりを実感できるようにする。
特別支援教育	どの子にとってもわかる授業の実践や落ち着いた取り組める学習環境の整備を推進する。	①一般学級、個別支援学級の教室環境や授業の工夫を紹介し合い、ユニバーサルデザインを取り入れた環境・授業作りに取り組む。②一般学級と個別支援学級の担任が、ていねいに情報を共有し、個別支援級の児童が安心して参加し、共に成長できる共同学習や交流をする。
児童指導	誰もが安心・安全に落ち着いた学校生活が送れるように、個を大切に児童理解を進めると共に、集団生活の中で基本的な生活習慣を身につける。	①児童の実態に配慮し、より分かりやすい「下野庭スタンダード」を目指して見直しを加えるとともに、一貫性のある指導にあたる。②学年研究会・職員会議の中で児童理解の場を定例化し、児童の状況を把握する。③児童の委員会活動を中心に、引き続き心のこもった「あいさつ運動」を推進していく。
地域連携	地域の教育力を学校教育に反映させ、豊かな学びにつなげる。地域への情報発信や連携を積極的にすすめ、「わが町の学校」をめざす。	①学校・地域コーディネーターを中心に学校と地域を繋ぎ、学習支援ボランティアの導入や、まちの方との関わりから児童の豊かな学びを支援する。また活動を発信し、学校・地域の連携を図る。②夏祭りや福祉の集い等の地域行事に積極的に参加し、地域の方々と交流を深める。③地域の代表者との懇話会を通して情報共有したことを生かしていく。
人材育成・組織運営	キャリアステージに応じた目標設定に基づき、校内研修会を通して授業力・教師力を高めるとともに、校内組織の活性化を図る。	①メンターチーム研修を充実させ、互いに授業公開をし、中堅・ベテランとの意見交換も取り入れて学習指導と生活指導双方の実践力を高める。②特別支援や人権等の校内研修を計画的に行うことで教師力を高め、学年・学級経営に生かしていく。③週に1回、教務会を行い、ミドルリーダー・学校リーダーが全体を見通して学校運営をしていく場を設定する。